

告辞

本日ここに沼津市長 大沼明穂様、三島市長 豊岡武士様をはじめ、多数のご来賓の皆さま、保護者の皆さま、および関係者の皆様のご列席をいただき、沼津工業高等専門学校平成 28 年度卒業証書、修了証書、学位記授与式を挙げていただけますのは、この上ない喜びであります。

本科を卒業される 197 名の皆さん、専攻科を修了される 24 名の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。

本校は、昭和 37 年に最初の高等専門学校として創立され、これまでに本科、専攻科を合わせて 8483 名の卒業生・修了生を世に送り出してきました。卒業生・修了生は、技術者として企業の第一線で活躍し、社会に多大な貢献をされています。皆さんはその先輩たちの仲間入りをし、輝かしい第一歩を踏み出されようとしています。

本科を卒業される皆さんの内、約半分の方は企業等に就職されます。本校での 5 年間の一貫した専門教育により、本科を卒業する皆さんは既に技術者としての基礎的な能力を身に付けています。専門領域に限れば、その実力は大学工学部卒業生を凌ぐものとして産業界から高く評価されています。企業からの求人倍率は 30 倍を超え、希望者全員が就職できます。

技術者として大事なもの、頼りになるものは、本校で身につけた実力や技術力であり、それらは一生涯なくなることのない掛け替えのない財産です。仕事を通じて実力や技術力を更に磨いて下さい。

日本の産業界は、高度成長の時の勢いはありませんが、ものづくりや技術に関しては、今でも世界のトップです。就職した企業で技術のトップになることは、日本のトップ、世界のトップになる可能性もあるのです。是非世界のトップを目指して頑張ってください。

しかし大学進学率が 5 割、大学院進学率も 1 割を超えている今日、技術者の中で、高専卒という学歴は高くありません。一緒に入社する仲間は、大学卒や修士修了といった、年齢も学歴も高い人も多いかも知れません。そのような中で、時には年齢や学歴の差に引け目を感じることもあるでしょう。しかし昨今では大手と言われる有名企業でさえ経営難に陥ることもあります。今や学歴などで差をつける企業は、まずありません。自らの技術に自信を持って歩んでいただきたいと思います。

また本科を卒業される半分の方は本校の専攻科や大学に進学、編入学して、さらに勉学を続けることとなります。本科で学んだ基礎を磨くとともに、さらに高度な技術を身に付けることと思います。しかし勉学を続ける分、歳を重ねることとなります。

普通、専攻科や大学学部を終えると、22 歳、修士課程まで修了すると 24 歳、博士課程を修了すると 27 歳になります。本科卒業生のような若さは無くなります。しかし進学後も勉

学に励むことで、歳を重ねた分以上の実力を身に付けることができます。これまで以上に努力し、常に輝き続けられるような実力を身に付けて下さい。そして、高い学歴を身につけた後でも、自らの実力は、本校での5年間の勉学が基礎になっていることを忘れないで下さい。

専攻科を修了された皆さん、修了おめでとうございます。皆さんは沼津高専のキャンパスで7年もの長きに渡って過ごされました。本校の教育を最も長く受けた、本校の代表と言っても過言ではありません。皆さんのこれからの活躍が、専攻科の評価、ひいては本校の評価に繋がります。専攻科で学んでいる後輩、これから専攻科で学ぼうとする後輩の為にも、専攻科の評価は私たちが作るのだという気概と自覚をもって、これからも努力を重ねて大いに活躍して欲しいと思います。

今や企業の活動の場は、日本国内のみならず、全世界に広がっています。既に多くの先輩方が国際舞台で活躍されています。技術のみならず豊かな国際性をも併せ持つことが必要です。昨年は世界情勢が大きく揺らぎ、国際秩序の枠組みに影響を与えるような出来事が続きました。それに伴って世界経済の先行きも不透明になり、将来の予測が困難な時代を迎えています。これらは日本企業の活動にも影響を与えています。将来が見通せない時に、頼りになるのは、自らの実力であり、技術力です。確かな技術を身につけていれば、どのような状況になっても道は拓けます。

皆さんは今、人生の最も輝いている時期にいます。その大事な時期にある皆さんが、成長して行くお手伝いをできたことを、私たち教職員は誇りに思っています。若い皆さんには、無限の可能性があります。努力を続ければ、夢を実現することもできます。その大きな可能性を、どれだけ活かすことができるかは、皆さん自身の努力にかかっています。時間は決して戻せません。一度きりの人生です。精一杯努力して、自らの可能性を存分に活かして下さい。

沼津高専を卒業、専攻科を修了される皆さんが、大きく成長され、社会から必要とされる技術者として、日本のみならず、国際的にも活躍されることを期待して、私のお祝いの言葉とします。

平成29年3月20日

独立行政法人国立高等専門学校機構

沼津工業高等専門学校長 藤本 晶